

老朽原発高浜 1・2 号の再稼働を止めよう！

4・30 関西と福井つながって学習・討論会

ゲスト：石地 優さん（福井県若狭町 安全なふる里を大切にする会）

日時：4月30日（日） 午後1：30開場 1：45～4：15

場所：ドーンセンター 大会議室1（4階）

（地下鉄・谷町線、京阪電車「天満橋」駅から350メートル）

参加費：500円（大学生以下と避難者は300円）。カンパ歓迎

高浜1・2号の再稼働を止めるため、安全性の問題と避難計画の問題を中心に、学び、議論し、そして行動につなげていきましょう。疑問や意見を出し合い、関西と福井が

つながって、老朽原発の再稼働を止めるため取り組みを進めましょう。

ご参加よろしくお願ひします。



＊ はじめに：石地さんから福井の状況や思い

＊ 1部：老朽原発の危険性 報告と討論

（圧力容器の脆性破壊、電気ケーブルの劣化、高浜4号の制御棒落下事故）

＊ 2部：原発事故時の避難先自治体アンケートの結果 報告と討論

（アンケート結果、京都府申入れの紹介等）

政府は原発の60年超えの運転を認め、原発の最大限活用に舵を切ろうとしています。原発の運転期間「原則40年」という福島原発事故の教訓を捨て去ることは許せません。

そして、老朽原発の再稼働を進めているのが関西電力です。関電は一昨年の美浜3号に続き、国内で最も古い高浜1号（運転開始から48年）を6月3日に、2号（47年）を7月15日に再稼働（送電）しようとしています。

しかし、関電の原発では事故が頻発しています。高浜4号（38年）の制御棒落下事故では、運転開始以来約40年間もケーブルのはんだ付け状態の劣化が見落とされてきました。事故が起きて初めて劣化が確認されるとは恐ろしいことです。事故は「経年劣化」によるもので、長期運転の危険を示しています。高浜3・4号では蒸気発生器細管の損傷が6回も続いており、これらの原因は解明されていません。

また、原発事故時の避難先自治体に行ったアンケート結果では、避難計画に実効性がないことが浮かび上がっています。

これらについて議論し、次の行動につなげていきましょう。ぜひ、ご参加ください。

避難計画を案ずる関西連絡会 2023.4.12

この件の連絡先 グリーン・アクション：京都市左京区田中関田町22-75-103 TEL：075-701-7223

美浜の会：大阪市北区西天満4-3-3 星光ビル3階 TEL：06-6367-6580